

西暦	和暦	どんぶらこ大会	どんぶらこ出場者数 ()内数字は申込者数	摘要
1993年	平成5年	第1回	33名	川を生かしたイベントとして第1回おやまDEどんぶらこが開催される。ただし前日の大雨のため短縮コースで開催。夜の部は小山中学校で開催。個人の部と団体(2名)の部。 山祭遊民はキャッチフレーズ。
1994年	平成6年	第2回	70名	金時まつりと合体。昼・夜の企画運営。夜の部は多目的広場に変更。団体の部を5名に変更。
1995年	平成7年	第3回	81名	昼の部のみの企画運営。
1996年	平成8年	第4回	120名	金時まつりから、金太郎春まつり・金太郎夏まつりに名称変更。
1997年	平成9年	第5回		前日の台風増水で仮設スロープによる短縮コースにより開催。
1998年	平成10年	第6回	271名	魚道をスロープに使用。コース設営にも曹友会の協力。
1999年	平成11年	第7回	296名	団体の部を3名1組に変更。
2000年	平成12年	第8回	306(327)名	建設業協会がコース設営。学生ボランティアの開始。
2001年	平成13年	第9回	246(237)名	個人の部の廃止。
2002年	平成14年	第10回	264(285)名	団体女性の部新設。
2003年	平成15年	第11回	0(303)名	大雨による増水のため初の中止。まつりDEおやまの発展的組織変更の議論始まる。
2004年	平成16年	第12回	269(257)名	カップルの部・親子の部の増設。県の湧水保全事業に参画する。
2005年	平成17年	第13回	417(428)名	山祭遊民設立総会。
2006年	平成18年	第14回	(541)名	ボランティアスタッフもお揃いの赤スタッフTシャツを着用。
2007年	平成19年	第15回	(617)名	
2008年	平成20年	第16回	824名	参加費の値上げ。中高生の部新設。
2009年	平成21年	第17回	495(1000)名	雨による増水のため一般の部終了時点で中止。申込者1000人に達する。水上パルーン開始。
2010年	平成22年	第18回	924(955)名	中高生の部廃止。祭組のみの活動に変更。
2011年	平成23年	第19回	636(671)名	前年の被災により足柄会場へ変更。女子ペアとカップルの部をペアの部に変更。
2012年	平成24年	第20回	610(630)名	会場を落合音淵会場にに戻すかどうか議論高まる。
2013年	平成25年	第21回	716(752)名	団体の部を2名1組に変更。女子団体の部の復活。中高生の部の復活。
2014年	平成26年	第22回	684(708)名	中高生の部廃止。
2015年	平成27年	第23回	762(798)名	企業の部新設。ベストタイム賞の設定。
2016年	平成28年	第24回	844(880)名	キッズバイクレースの開始。
2017年	平成29年	第25回	876(924)名	BBQエリアの一部有料化。企業PRの部に名称変更。25回大会を機に曹友会に感謝状。
2018年	平成30年	第26回	0(854)名	台風12号の影響で中止。参加費の値上げと参加人数の上限設定。